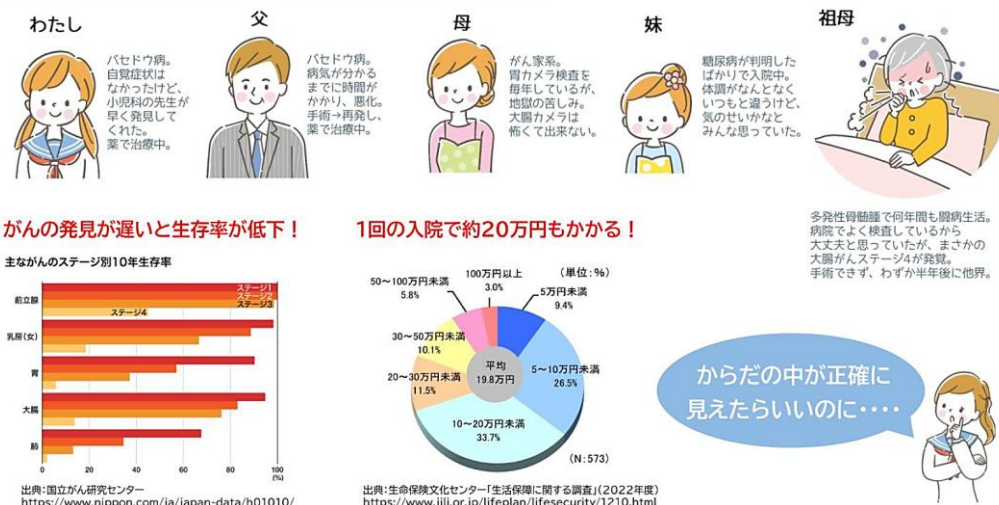


★ R 7 えひめっこピカイチ大賞★

情報活用部門

「あったらいいなこんな世界～大阪・関西万博の年に描く未来の姿～」

「手遅れです」をなくしたい！



あったらいいな、こんなアイテム

早期発見 & 早期治療のために 病気チェック虫メガネ

対象年齢 何才でも
対象性別 誰でも
対象人数 最大6人までの
データを記憶
価格 ¥30,000 (税込)
買える場所 病院・薬局

使用頻度 週1回～
使い方 電源を入れて、チェックしたい体の部分に近づけるだけ。
異常があれば判定窓が「赤色」、正常なら「青色」に光る。
アプリ連動 「赤色」の場合、考えられる病名や近くのおすすめ病院が表示される



※イラストはGeminiで作成したもの

叶うといいな、こんな世界

「病気チェック虫メガネ」で、わたしたちの未来はどう変わる？



【特選作品】

1人1台端末を用いて自主的に作成した作品について、優秀と認められたものです。おめでとうございます！



★ R 7 えひめっこピカイチ大賞★

情報活用部門

「あったらいいなこんな世界～大阪・関西万博の年に描く未来の姿～」

食品ロスの現状

あったらいいなこんな世界
～大阪・関西万博の年に描く未来の姿～

世界では食料生産量の3分の1に当たる約13億トンの食料が毎年廃棄されています。日本でも1年間に約612万トンもの食料が捨てられており、これは東京ドーム5杯分とほぼ同じ量です。

日本での食品ロスの原因は、大きく分けて2つあります。一つは、スーパーマーケットやコンビニなど小売店での売れ残りや返品、飲食店での食べ残し、売り物にならない規格外品といった事業系食品ロス（328万トン）。もう一つは、家での料理の作り過ぎによる食べ残しや、買ったのに使わずに捨ててしまうこと、料理を作る時の皮のむき過ぎなど、家庭系食品ロス（284万トン）です。

日本人1人あたり
毎日お茶碗1杯分
捨てている。



https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.htmlより引用

AIが食材を管理し食品ロスを出さない未来

持続可能な社会の実現へ

SDGs

健康で快適な暮らしへ

- ・栄養バランスの取れた食事が食べられる。
- ・体調に合わせて量や、食材を変えてくれる。

CO₂の排出量を減らす

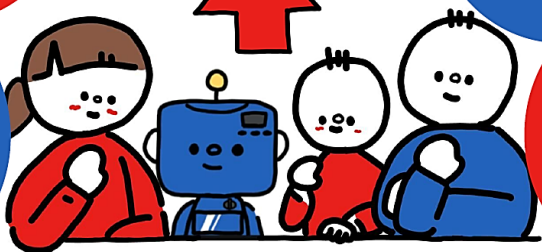
- ・廃棄される食材を減らす事によって、処分するときに使うCO₂の削減につながる。

食品を無駄にしない未来

- ・余った食材は廃棄されることなく、新しい料理に生まれ変わる。
- ・「賞味期限を切らして廃棄する」ということがなくなる。

少子高齢化との繋がり

- ・持病を抱えている高齢者へ病院などと連携し、料理を提供することができる。
- ・子供の成長段階に合わせたメニューを提供することができる。



こんなの欲しい！

AI自動調理器！



オーブンレンジ
温める 焼く



冷蔵庫
保存する
冷凍する



AI自動調理器



AI
賞味期限を確認し
作る料理・手順を考える



自動調理器
料理する



フード
プロセッサ
切る
まぜる

【特選作品】

1人1台端末を用いて自主的に作成した作品について、優秀と認められたものです。おめでとうございます！



★ R 7 えひめっこピカイチ大賞★

情報活用部門

「あったらいいなこんな世界～大阪・関西万博の年に描く未来の姿～」

自然災害に強い社会に

予測できない自然災害

いつ起きてもおかしくない地震や洪水などの自然災害。ぼくが住んでいる西予市は、西日本豪雨のとき想定を大きく超える大雨により、川が氾濫しました。また、気象庁は、地震の予測は難しいと発表しています。自然災害は、いつどこで発生するか分かりにくいことが課題だと思いました。

気象庁HPより

“確度の高い地震の
予測は難しい”



未来の姿

AIとスマホを活用して災害から命を守る社会に

自然災害がもし起きたとき、今のスマートフォンやアプリにある機能（マップやカメラ等）を利用して避難所までスムーズに誘導できるようにしたいです。

僕も、今後どんな自然災害があるか分からない状況ですが、こういうサービスで少しでも多くの命を救いたかったです。

西予市には、市と愛媛大学が共同開発した防災のアプリがありますが、ダウンロード数は500以上とまだ広まっていません。AIを活用するもっと便利になるアイデアを考えました。

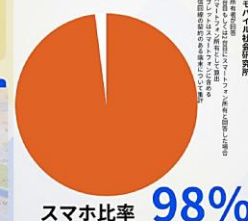
解決するアイデア AIとスマートフォンを 活用した防災システム

約9割も使われているスマートフォンと近年進化しているAIを活用し、災害発生から避難所までの誘導をサポートするシステムです。

安全な道を選び、
音と映像で
避難経路を案内する
ことができる。

津波がどこまで来て
いるか等を
スマートフォンの地
図で確認できる。

2025年携帯電話所有
者におけるスマート
フォン比率



【特選作品】

1人1台端末を用いて自主的に作成した作品について、優秀と認められたものです。おめでとうございます！

